太田市社会福祉協議会
広報紙
つながる通信
Vol .338
発行日
2026年11月2日



あそびば！　まなびば！
こどもの食堂び～ば～

「こどもの食堂び～ば～」は、2021年6月に始まり、2026年で6年目を迎えました。現在は強戸行政センターを拠点に、毎月1回、11時から開催しています。地域の子どもたちが安心して集える場を目指し、活動を続けています。6年目を迎える、こども食堂を支える皆さんのつながりをご紹介します。



こどもの食堂び～ば～　代表　岩下 幸江 さん

皆さまに支えられ、6年目を迎えることができました。
人と人とのつながりは、お金で買えない大切な宝物です。
ボランティアや食材のご提供など、温かいご支援に心より感謝申し上げます。これからも子どもたちの笑顔と地域のつながりを大切に活動してまいります。

こども食堂と言えば、食事がメイン！


栄田さん・岩下さん・中澤さん


メニューの一例


みんなのお楽しみデザート担当は
岩下さんの娘さん

人とのつながりは、「地域のお宝」で、お互い顔の見える関係から始まり、いつの間にか支え合いに発展します。地域の何気ない活動も５年後、１０年後、人生を豊かに過ごすための糧となります。あなたの今のつながりを「支え合い活動」として意識してみてください。

地域のお宝発見　～太田市生活支援体制整備事業～

こどもの食堂び～ば～ と

ボランティアとのかかわり

寺井地区むらづくり推進協議会

協議会で管理している田畑で収穫した作物を提供しています



農作物を作る身としては、子どもにしっかり食べてもらいたいとの思いから、こどもの食堂び～ば～に、収穫した作物を提供しています。（深澤さん）

農業体験が支援を必要とする子どもにとって、外出の機会や地域住民との交流のきっかけになればと思い、先ずは、こどもの食堂び～ば～用に畑を作りました。芋堀体験の機会を提供したりしています。（木暮さん）

深澤　行晴さん　　会長　木暮　覚さん

染野谷半次郎（豆腐の移動販売車）

品質にこだわった非常に良い商品を扱っています。食品ロス削減の為にできる事を探していたところ、こどもの食堂び～ば～と出会いました。食品提供として、必要としてくださる方に行き届く方法があると知り、食堂を開催する日に限らず支援活動をしています。こだわりの大豆製品を多くの人に手にとっていただきたいです。



小堀　利博　さん

ボランティアスタッフの皆さん（総勢17名）



お餅つきをサポート



会場準備



バルーンアート



遊びをサポート



屋台料理をサポート

Point

強戸地区で愛され、6年目を迎えた「こどもの食堂 び～ば～」。
多くのボランティアや地域の皆さんに支えられ、温かな支援を届けています。
一人では難しいことも、みんなの思いが集まればできることがあります。
「必要としている方に、できることを届けたい」という岩下さんの思いと、
その思いに共感する仲間とともに、日々、活動されています。

〈お問合せ〉
太田市社会福祉協議会　地域福祉課　地域福祉係
住所：太田市飯塚町1549　電話：0276-46-6208

つながる通信
過去の記事はこちらから